



三芳町町制施行50周年記念花火

秋の夜空を 記念花火が舞う

11月3日(火・祝)の町民の日に、町制施行50周年を迎えた三芳町。この日、町内5か所でお祝いの花火を順次打ち上げ、記念すべき日に華を添えました。



制施行50周年を迎えた11月3日の町民の日。色鮮やかな花火が町内5カ所(竹間沢みよし台地区、藤久保地区、北永井地区、上富地区、役場庁舎)の夜空を彩りました。

この日予定していた50周年記念式典は新型コロナウイルスの影響で延期となり、みよしまつりも中止となった今年。暗いニュースが続く中、地域で花火を打ち上げることでより地域の絆が深まり、さらに町が一つになることを願って、お祝いの花火が企画されました。

後世へ受け継ぐ花火

5カ所での花火の打ち上げは、三芳町で初めてのこと。この花火には「町のどこからでも花火が見えて、住民の皆さんに感動と希望を届けたい」という願いが込められています。

豊かな故郷三芳を築き上げてきた先人達の足跡を振り返り、感謝する町民の日。この記念花火が未来に向けた新たな一歩となるとともに、三芳町の歴史の1ページとして刻まれ、後世へと受け継がれることでしょうか。



地権者の皆さんの温かいご協力と毎年みよしまつりの花火を手掛ける熟練の花火師により実現できました。